

1. 科目名 (単位数)	産業・組織心理学／組織心理学 (2単位)	3. 科目番号	PSMP3352						
2. 授業担当教員	石川 美智子								
4. 授業形態	講義、ディスカッション	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係	「社会心理学」の単位を修得した後に履修するのが望ましい。								
7. 講義概要	産業・組織心理学は、現場で働く人々のニーズに研究知見が直結する応用的分野である。これはすなわち、産業・組織心理学の研究知見が、組織を運営する人々や組織で働く人々、さらに社会人として大小の組織に加入することになる学生にとっても、現場の状況理解や問題解決につながる有用な知見が蓄積されているということである。本授業では、組織の中で、個人がどう知覚し、どのように行動し、態度を形成して、組織活動に参画していくのかについて理解する。さらにリーダーシップ行動や組織における意思決定や消費者行動について学ぶ。こうした産業の中で効率を上げるための心理学だけでなく、メンタルヘルスを向上させることで組織が活性化するという立場に立って、コミットメント、動機づけなどを含む職務満足、さらにはキャリア発達の視点とキャリアカウンセリングについて理解する。そして、学んだ産業・組織に関する知見に対して、どのような心理的援助ができるのかについて考究する。								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 組織活動や消費者行動と組織における人の行動について理解し、説明できる。</li> <li>2. 組織の中で人の成長を促すもの、障害となるものについて理解し職場における問題に対して必要な心理的支援について考究できる。</li> <li>3. 組織活動を通して、我々が成長し、幸せになるためには、どのような視点を持つことが必要なのかについて考究し、就職する組織についての基準を自分なりに創造することができる。</li> </ol>								
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事前、事後学習を必須とする。</li> <li>2. 授業期間中に、事後学習の内容による小レポートを数回課すので、その提出が求められる。</li> </ol>								
10. 教科書・参考書・教材	授業時に資料を配布する。 <b>【参考書】</b> 山口裕幸金井篤子編『よくわかる産業・組織心理学』ミネルヴァ書房、2007。								
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 組織活動や消費者行動と組織における人の行動について理解し、説明できる。</li> <li>2. 組織の中で人の成長を促すもの、障害となるものについて理解し、職場における問題に対して必要な心理的支援について考究できる。</li> <li>3. 組織活動を通して、我々が成長し、幸せになるためには、どのような視点を持つことが必要なのかについて考究し、就職する組織についての基準を自分なりに創造することができたか。</li> </ol> ○評定の方法 <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加</td> <td>総合点の40%</td> </tr> <tr> <td>2 レポート</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>3 期末試験</td> <td>総合点の30%</td> </tr> </table>			1 授業への積極的参加	総合点の40%	2 レポート	総合点の30%	3 期末試験	総合点の30%
1 授業への積極的参加	総合点の40%								
2 レポート	総合点の30%								
3 期末試験	総合点の30%								
12. 受講生へのメッセージ	人生の中で大きな比重を占める「働く」ということ。それが有償であれ無償であれ、個人、組織内であれ、自分らしく幸福に生きるための鍵になります。特に組織の中で働く場合、産業・組織心理学の知見は多いに参考になるでしょう。また、組織の中で人々に心理的支援を行うには必須の知識です。積極的な関心を持って授業に臨んで下さい。								
13. オフィスアワー	授業内で周知する。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	産業・組織心理学の意義と歴史	事前学習	将来、自身が組織で働くことを想定した時に、どのような場で働きたいか考え記載する。						
		事後学習	組織観の歴史的流れについてまとめる。						
第2回	働く人の安全のための施策	事前学習	働く人の安全のための施策を調べる。						
		事後学習	働く人の安全のための施策をまとめる。						
第3回	メンタルヘルスマネジメント	事前学習	メンタルヘルスマネジメントについて疑問点を明確にする。						
		事後学習	メンタルヘルスケアの意義をまとめる。						
第4回	労働災害の歴史	事前学習	労働災害を調べまとめる。						
		事後学習	労働災害の歴史から動向をまとめる。						
第5回	労働者の心の健康保持のための指針	事前学習	労働者の心の健康保持のための指針を調べ整理する。						
		事後学習	労働者の心の健康保持のための指針の基本概念をまとめる。						
第6回	職場におけるメンタルヘルスの現状	事前学習	職場におけるメンタルヘルスの現状を調べる。						
		事後学習	職場におけるメンタルヘルスをまとめる。						
第7回	労働安全衛生法に基づいた制度	事前学習	労働安全衛生法について疑問点を明確にする。						
		事後学習	労働安全衛生法に基づいた制度を具体的にまとめる。						

第8回	前半のまとめ	事前学習	小テストの結果から自己分析する。
		事後学習	小テストのできなかったところをまとめる。
第9回	精神障害等に係る労災認定	事前学習	精神障害等に係る労災認定件数の変化を調べる。
		事後学習	労災認定の基本的考え方をまとめる。
第10回	働きやすさと経営改革	事前学習	働きやすさに、積極的に取り組んでいる会社を調べる
		事後学習	経営改革によってどのような効果がうまれたかまとめる。
第11回	キャリアコンサルタント	事前学習	キャリアコンサルタントについてまとめる。
		事後学習	キャリアコンサルタントの実践の意義をまとめる。
第12回	ストレスについて	事前学習	ストレスの仕組みを調べまとめる。
		事後学習	ストレスの対処法をまとめる。
第13回	パワーハラスメントについて	事前学習	パワーハラスメントの例を調べまとめる。
		事後学習	キャリアコンサルタントの定義をまとめる。
第14回	ストレス対策	事前学習	ストレス対策を具体的にあげる。
		事後学習	ソーシャルサポートも含めたストレス対策をまとめる。
第15回	消費者行動とマーケティング	事前学習	自身の消費者行動の経験に当てはまる理論がないか検討し、記載する。自己分析する。
		事後学習	自身の経験についても振り返り、新しく理解したことを加えて800字程度で記述する。
期末試験			